

令和5年9月定例会

教育産業委員会資料
(教育委員会)

秋田市立学校設置条例新旧対照表

改 正 案	現 行																
第1条 (略) 別表 小学校の表 (略) 中学校 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">名 称</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">位 置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table> 高等学校の表 (略)	名 称	位 置	(略)		(略)		(略)		第1条 (略) 別表 小学校の表 (略) 中学校 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">名 称</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">位 置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">秋田市立下北 手中学校</td> <td style="text-align: center;">秋田市下北手松崎字 走り崎14番地</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table> 高等学校の表 (略)	名 称	位 置	(略)		秋田市立下北 手中学校	秋田市下北手松崎字 走り崎14番地	(略)	
名 称	位 置																
(略)																	
(略)																	
(略)																	
名 称	位 置																
(略)																	
秋田市立下北 手中学校	秋田市下北手松崎字 走り崎14番地																
(略)																	

請願・(陳情)		令和5年9月市議会定例会提出分 (新規)・継続	
受理番号	受理年月日	件名	請願・(陳情者名)
6	令和5年8月30日	公立学校における少人数学級編制の拡充及び正規教員増に関する意見書の提出について	住所 氏名
請願・(陳情)の要点		左に対する措置等	
<p>文部科学省によれば、2021年度始業日時点において、公立の小・中・高等学校、特別支援学校（以下「公立学校」といいます。）全体で2,558人もの教員不足が発生していました。その後も、産休、育休などの代替教員が見つからず、児童生徒が自習を余儀なくされたり、管理職が担任をしたりする事例が頻発しています。欠員分の業務をカバーする教員の過重労働は、病気休職や離職につながり、教員不足を深刻化させるという負の連鎖が止まりません。</p> <p>その主な原因は、教員雇用の非正規依存が進み、教員供給が不安定化したことにあります。2021年度の公立学校教員の非正規率は、小・中・高等学校ともに10%を超え、特別支援学校では実に18.57%でした。その背景には、義務教育費国庫負担率の2分の1から3分の1への縮減など、2000年代以来の教職員給与費制度の改変も影響しています。</p> <p>また、教員の長時間過密労働の表面化による教職希望者の減少も教員不足の要因となっています。2016年度に実施した教員勤務実態調査結果によると、小学校教諭の33.4%、中学校教諭の57.7%が月80時間の時間外勤務時間とされている「過労死ライン」を超えて働いており、精神疾患による休職者は、2021年度に過去最多の5,897人を記録しました。授業準備時間も不十分なままに指導をし続ける過密労働は、学校教育に対する不信を招く結果ともなっています。こうした教育現場の実態を早急に改善し、教員の人権を擁護することが喫緊の課題です。</p>			

教員不足及び長時間過密労働を解消することと、子どもの学習権を保障することを両立させるには、正規教員を増やすことが不可欠です。いわゆる義務標準法では、公立小・中学校の教員標準定数を基礎定数と加配定数の組合せにより算定していますが、近年の定数改善は若干の加配定数の増が中心の小規模なものにとどまっています。正規教員増には、同法第7条第1項第1号の教員基礎定数の算定における「乗ずる数」の数値を改正して学級担任外教員数を増やし、各教員の授業担當時数を減らすことが効果的です。「乗ずる数」を1.25倍に改善するだけで、教諭の週平均授業担當時数を、小学校では1日平均4コマ、中学校では1日平均3コマに減少させることができます。そのために必要な予算額は約9,800億円であり、現実的な政策であるといえます。

2021年に小学校における35人学級が41年ぶりに実現しましたが、諸外国と比べると35人はもはや「少人数学級」とは呼べず、中学校・高等学校はいまだ40人学級のまです。「乗ずる数」（いわゆる高校標準法では「除すべき数」）に至っては1993年以来30年間改正されず、教育ニーズが増大する教育現場の実態に合わなくなっています。

つきましては、公立学校における教員不足と長時間過密労働解消のため、学級編制標準を改正し、少人数学級編制を拡充するとともに、教員の基礎定数改善による正規教員増を図るため、下記事項について、国会及び関係行政庁に対して意見書を提出して下さるよう陳情いたします。

記

- 1 公立学校の学級編制標準を改正し、少人数学級編制を拡充すること。
- 2 基礎定数の「乗ずる数」・「除すべき数」の数値を改正し、正規教員増を図り、教員の授業担當時数の軽減を行うこと。

使用料等改定対象施設一覧表

教育産業委員会資料

この一覧表は、各施設のうち「コスト計算をした諸室」について算定料金等をまとめたものであり、各施設の詳細な改定後料金については使用料等改定対象施設概要書をご覧ください。

緑色のセルは、指定管理者制度導入施設

サービス分類
 ①公益的・必需的 - %
 ②公益的・選択的 50%
 ③私益的・必需的 - %
 ④私益的・選択的 100%

激変緩和適用一〇

No.	改正条例	所管課所室	施設名	施設名2	諸室名	受益者負担割合	現行料金(円)	算定料金(円)	激変緩和適用	改定後料金(円)	施設概要書No	
1	秋田市立学校使用料条例	教委総務課	市内小学校		屋内運動場	100%	430	4,053	○	640	1~40	
2					屋外運動場	100%	210	70,356	○	310	1~40	
3					教室	100%	100	309	○	150	1~40	
4				市内中学校		屋内運動場	100%	430	1,004	○	640	41~60
5					屋外運動場	100%	210	13,017	○	310	41~60	
6					教室	100%	100	311	○	150	41~60	
7			秋田商業高等学校	秋田商業高校		屋内運動場(体育館)	100%	430	19,889	○	640	61
8					屋内運動場(多目的練習場)	100%	430	14,612	○	640	61	
9					屋外運動場	100%	210	54,535	○	310	61	
10					教室	100%	100	835	○	150	61	
11			御所野学院高等学校	御所野学院高等学校		屋内運動場(体育館)	100%	430	4,962	○	640	62
12					屋外運動場	100%	210	56,043	○	310	62	
13					教室	100%	100	277	○	150	62	
14			秋田公立美術大学附属高等学院	秋田公立美術大学附属高等学院		体育館	100%	430	43,930	○	640	63
15	秋田市太平山自然学習センター条例	太平山自然学習センター	秋田市太平山自然学習センター		宿泊室4人	50%	2,200	4,491		2,600	64	
16					宿泊室11人	50%	2,200	4,555		2,600	64	
17					宿泊室12人	50%	2,200	5,867		2,600	64	
18					宿泊室18人部屋	50%	2,200	7,754		2,600	64	
19					浴室	50%	100	253	○	150	64	
20					研修スペース	50%	800	1,451	○	1,200	64	

使用料等改定対象施設一覧表

教育産業委員会資料

この一覧表は、各施設のうち「コスト計算をした諸室」について算定料金等をまとめたものであり、各施設の詳細な改定後料金については使用料等改定対象施設概要書をご覧ください。

緑色のセルは、指定管理者制度導入施設

サービス分類
 ①公益的・必需的 - %
 ②公益的・選択的 50%
 ③私益的・必需的 - %
 ④私益的・選択的 100%

激変緩和適用一〇

No.	改正条例	所管課所室	施設名	施設名2	諸室名	受益者負担割合	現行料金(円)	算定料金(円)	激変緩和適用	改定後料金(円)	施設概要書No
21	秋田市太平山自然学習センター条例	太平山自然学習センター	秋田市太平山自然学習センター		食堂	50%	600	964	○	900	64
22					大屋根広場	50%	1,200	2,138	○	1,800	64
23					ワークショップ	50%	500	925	○	750	64
24					炊事場(炊事棟A~B)	50%	300	451	○	450	64
25					テントサイト(42張)	50%	1,200	2,225	○	1,800	64

使用料等改定対象施設概要書 (No. 001～040)

(No. 041～060)

(No. 061～063)

所管部局 (教育委員会)

- 1 小学校 40校 (詳細は別紙)
- 2 中学校 20校 (詳細は別紙)
- 3 高等学校等 3校 (詳細は別紙)
- 4 料金改定年月日 平成26年4月1日 (消費税率引き上げに伴う改定)
令和元年10月1日 (消費税率引き上げに伴う改定)
- 5 施設の利用件数 令和4年度
秋田商業高等学校 17件
御所野学院高等学校 10件

※ 利用人数については集計していないため、利用件数のみ集計

6 貸出区分・料金体系

区分		使用料	
		単位	金額
校舎	屋内運動場	1回につき	430円
			----- 640円
	教室		100円
			----- 150円
屋外運動場			210円
			----- 310円

※ 使用料中、上段の金額は現行使用料、下段の金額は改定使用料。

1 小学校

名 称	所在地	規模等 ①構造等 ②面積（校舎、屋内運動場、屋外運動場） ③開設年月
保戸野小学校	保戸野すわ町9番60号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②4,336㎡、1,258㎡、7,347㎡ ③明治7年6月17日
明德小学校	千秋公園1番13号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②5,384㎡、1,084㎡、11,789㎡ ③明治16年4月28日
築山小学校	檜山古川新町55番地の1	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,135㎡、1,038㎡、6,179㎡ ③明治16年11月1日
旭北小学校	山王三丁目1番35号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②4,861㎡、1,092㎡、6,400㎡ ③明治20年9月16日
中通小学校	中通五丁目8番22号	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：S造平家建他 ②5,368㎡、902㎡、5,448㎡ ③明治25年5月31日
旭南小学校	旭南一丁目15番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②6,025㎡、1,229㎡、9,189㎡ ③明治42年12月4日
牛島小学校	牛島東六丁目6番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②5,113㎡、1,252㎡、9,956㎡ ③明治8年3月31日
川尻小学校	川尻みよし町8番31号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②6,197㎡、1,012㎡、7,334㎡ ③明治7年9月14日
旭川小学校	手形字才ノ浜63番地	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,459㎡、1,016㎡、5,430㎡ ③明治7年5月25日
土崎小学校	土崎港中央三丁目1番78号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②4,455㎡、957㎡、4,209㎡ ③明治7年4月25日
港北小学校	土崎港北四丁目6番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②7,084㎡、1,238㎡、15,826㎡ ③昭和23年4月8日
土崎南小学校	土崎港東一丁目6番39号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②5,245㎡、980㎡、5,471㎡ ③昭和36年4月1日
高清水小学校	将軍野南一丁目2番16号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,458㎡、1,248㎡、13,358㎡ ③明治11年11月5日
広面小学校	広面字蟹沢29番地	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②5,762㎡、1,042㎡、11,435㎡ ③明治7年11月3日
日新小学校	新屋栗田町24番1号	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：S造平家建他 ②6,083㎡、836㎡、2,769㎡ ③明治7年7月7日
太平小学校	太平目長崎字上目長崎144番地	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②2,097㎡、518㎡、6,198㎡ ③明治7年7月7日

名 称	所在地	規模等 ①構造等 ②面積（校舎、屋内運動場、屋外運動場） ③開設年月
外旭川小学校	外旭川字梶ノ目262番地の2	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②5,668㎡、1,073㎡、10,701㎡ ③明治10年12月15日
飯島小学校	飯島鼠田二丁目2番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②6,101㎡、1,077㎡、17,339㎡ ③明治8年9月4日
下新城小学校	下新城笠岡字佐戸反10番地	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②2,774㎡、914㎡、14,764㎡ ③明治8年9月10日
浜田小学校	浜田字自在山47番地の2	①校舎：RC造2階建、屋内運動場：S造平家建他 ②2,668㎡、729㎡、8,505㎡ ③明治7年10月19日
豊岩小学校	豊岩豊巻字内縄尻90番地	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②3,780㎡、1,352㎡、16,485㎡ ③明治8年9月1日
仁井田小学校	仁井田本町四丁目7番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②6,604㎡、1,011㎡、13,045㎡ ③明治15年11月28日
四ツ小屋小学校	四ツ小屋字街道東256番地の1	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②5,017㎡、979㎡、12,876㎡ ③明治8年2月9日
上北手小学校	上北手猿田字館ノ下38番地	①校舎：RC造2階建、屋内運動場：S造平家建他 ②2,517㎡、824㎡、6,210㎡ ③明治8年4月13日
下北手小学校	下北手松崎字谷崎202番地の1	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②3,563㎡、780㎡、11,100㎡ ③明治8年5月24日
下浜小学校	下浜羽川字水垂92番地	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②1,963㎡、758㎡、9,922㎡ ③明治7年5月3日
金足西小学校	金足大清水字大清水台1番地	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②3,224㎡、794㎡、13,856㎡ ③明治8年3月10日
勝平小学校	新屋松美ガ丘北町14番1号	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：RC造2階建他 ②7,701㎡、1,544㎡、9,975㎡ ③昭和45年4月1日
八橋小学校	八橋大沼町7番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②6,035㎡、928㎡、9,906㎡ ③昭和48年4月1日
東小学校	東通二丁目11番1号	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,400㎡、989㎡、9,180㎡ ③昭和52年4月1日
泉小学校	泉中央六丁目2番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,081㎡、999㎡、9,110㎡ ③昭和54年4月1日
大住小学校	仁井田字西潟敷33番地	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,617㎡、989㎡、11,028㎡ ③昭和55年4月1日
桜小学校	桜四丁目12番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②6,216㎡、960㎡、7,124㎡ ③昭和59年4月1日

名 称	所在地	規模等 ①構造等 ②面積（校舎、屋内運動場、屋外運動場） ③開設年月
飯島南小学校	飯島西袋一丁目1番2号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②4,995㎡、986㎡、9,562㎡ ③昭和61年4月1日
寺内小学校	寺内堂ノ沢二丁目14番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②4,990㎡、1,092㎡、8,498㎡ ③平成2年4月1日
御所野小学校	御所野元町五丁目1番1号	①校舎：RC造2階建、屋内運動場：S造平家建他 ②6,631㎡、1,258㎡、11,198㎡ ③平成3年4月1日
戸島小学校	河辺戸島字本町123番地	①校舎：RC造2階建、屋内運動場：S造2階建他 ②2,940㎡、876㎡、14,172㎡ ③明治8年3月18日
河辺小学校	河辺和田字岡村164番地1	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②4,118㎡、1,023㎡、13,762㎡ ③昭和46年4月1日
岩見三内小学校	河辺三内字外川原39番地	①校舎：RC造2階建、屋内運動場：RC造平家建他 ②2,471㎡、330㎡、8,466㎡ ③昭和61年4月1日
雄和小学校	雄和石田字蟹沢40番地	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：RC造平家建他 ②2,224㎡、546㎡、0㎡ ③平成28年4月1日

小学校：40校

2 中学校

名 称	所在地	規模等 ①構造等 ②面積（校舎、屋内運動場、屋外運動場） ③開設年月
秋田東中学校	手形休下町10番51号	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：S造2階建他 ②7,233㎡、1,773㎡、8,245㎡ ③昭和28年4月1日
秋田南中学校	南通宮田15番1号	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,156㎡、1,738㎡、10,714㎡ ③昭和28年4月1日
山王中学校	山王三丁目1番24号	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：RC造2階建 ②7,423㎡、1,959㎡、9,095㎡ ③昭和28年4月1日
土崎中学校	土崎港北一丁目3番1号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②6,288㎡、1,834㎡、10,730㎡ ③昭和22年4月1日
秋田西中学校	新屋大川町19番75号	①校舎：RC造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,163㎡、1,811㎡、20,524㎡ ③昭和39年4月1日
外旭川中学校	外旭川字梶ノ目50番地	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：S造平家建他 ②5,205㎡、1,010㎡、12,781㎡ ③昭和22年4月1日
秋田北中学校	下新城野字街道端西241番地の90	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：RC造2階建他 ②4,753㎡、1,661㎡、9,712㎡ ③昭和37年4月1日
城南中学校	檜山城南町4番1号	①校舎：RC造4階建、屋内運動場：S造平家建他 ②8,133㎡、1,834㎡、8,569㎡ ③昭和41年4月1日

名 称	所在地	規模等 ①構造等 ②面積（校舎、屋内運動場、屋外運動場） ③開設年月
下北手中学校	下北手松崎字走り崎14番地	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②2,616㎡、847㎡、11,000㎡ ③昭和22年4月1日
城東中学校	広面字鍋沼17番地	①校舎：R C造4階建、屋内運動場：S造2階建他 ②8,501㎡、2,032㎡、12,369㎡ ③昭和54年4月1日
泉中学校	泉北二丁目6番1号	①校舎：R C造4階建、屋内運動場：S造2階建他 ②7,563㎡、1,775㎡、10,113㎡ ③昭和56年4月1日
将軍野中学校	将軍野南一丁目12番1号	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,616㎡、1,804㎡、12,949㎡ ③昭和57年4月1日
御野場中学校	仁井田字中新田223番地	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②7,163㎡、1,793㎡、12,558㎡ ③昭和59年4月1日
勝平中学校	新屋北浜町13番1号	①校舎：R C造2階建、屋内運動場：S造平家建他 ②5,262㎡、1,684㎡、10,812㎡ ③昭和62年4月1日
飯島中学校	飯島字田尻堰越48番地	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②6,608㎡、1,834㎡、9,785㎡ ③平成3年4月1日
桜中学校	桜台一丁目1番1号	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：R C造平家建他 ②4,991㎡、1,680㎡、12,790㎡ ③平成10年4月1日
御所野学院中学校	御所野地藏田四丁目1番1号	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②5,145㎡、1,432㎡、9,635㎡ ③平成11年4月1日
岩見三内中学校	河辺三内字外川原39番地	①校舎：R C造2階建、屋内運動場：S造2階建他 ②2,502㎡、1,044㎡、12,521㎡ ③昭和22年5月1日
河辺中学校	河辺北野田高屋字雷谷地84番地	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②4,417㎡、1,686㎡、86,522㎡ ③昭和34年4月1日
雄和中学校	雄和石田字蟹沢40番地	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：R C造2階建他 ②3,418㎡、1,553㎡、13,175㎡ ③昭和42年4月1日

中学校：20校

3 高等学校等

名 称	所在地	規模等 ①構造等 ②面積（校舎、屋内運動場、屋外運動場） ③開設年月
秋田商業高等学校	新屋勝平台1番1号	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：S造平家建他 ②8,962㎡、5,973.6㎡、25,103㎡ ③大正9年4月25日
御所野学院高等学校	御所野地藏田四丁目1番1号	①校舎：R C造3階建、屋内運動場：S造2階建他 ②5,038㎡、2,134㎡、13,288㎡ ③平成12年4月1日
秋田公立美術大学附属高等学院	新屋大川町12番3号	①校舎：R C造2階建、屋内運動場：R C造平家建他 ②2,604㎡、852㎡、0㎡ ③昭和27年6月10日

高等学校等：3校

使用料等改定対象施設概要書 (No. 064)

所管部局 (教育委員会)

- 1 名称 太平山自然学習センター
 2 所在地 秋田市仁別字マンタラメ 2 2 7 - 1
 3 規模等
 (1) 構造等 鉄筋コンクリート一部木造 3 階建
 (2) 面積 5,027.6m²
 (3) 開設年月 平成 1 5 年 8 月 2 2 日
 (4) 料金改定年月日 平成 2 6 年 4 月 1 日 (消費税率引き上げに伴う改定)
 平成 2 7 年 4 月 1 日
 令和元年 1 0 月 1 日 (消費税率引き上げに伴う改定)
 (5) 施設の利用人数 令和 4 年度 6,535 人
 (6) 貸出区分・料金体系

○宿泊使用 10:00～翌日9:00 (最長23時間)

貸出区分名	用途・概要等	使用料
宿泊室	一般	2,200円 2,600円
	小学生および中学生	1,100円 1,300円
テントサイト	1 張	1,200円 1,800円
浴室※テント利用者	小学生以上	100円 150円
宿泊室 ※日帰り者	一般	300円 340円
	小学生および中学生	150円 170円
テントサイト ※日帰り者	一般	100円 110円
	小学生および中学生	50円 50円

○日帰り使用 (1時間当たり) 9:00～18:00 (最長9時間)

貸出区分名	用途・概要等	使用料	
本館	宿泊室	4～12人部屋	200円 200円
		18人部屋	300円 300円
	研修スペース		800円 1,200円
	食堂		600円 900円
大屋根研修棟	大屋根広場	1,200円 1,800円	
	ワークショップ	500円 750円	
炊事棟		300円 450円	

※ 使用料中、上段の金額は現行使用料、下段の金額は改定使用料

4 施設写真



教育産業委員会資料
令和5年9月21日
教育研究所

令和5年度全国学力・学習状況調査における 秋田市の結果について

令和5年度全国学力・学習状況調査における秋田市の結果について

● 調査概要 ●

全国学力・学習状況調査は、文部科学省が、義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、教育施策の成果と課題を検証し改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や改善に役立てることを目的として、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、平成19年度から継続して実施してきました。

今年度の調査は、令和5年4月18日に、国語、算数・数学、中学校英語の教科に関する調査と、生活習慣や学習環境等についての質問紙調査が行われました。英語「話すこと」の調査は期間を設けて実施され、国が抽出した中学校の結果から推定した全国値のみが公表されました。

● 本市調査結果の概要 ●

【教科調査の概要「全般」】

- ・ 小学校6年生2,094名、中学校3年生1,986名が参加しました。
- ・ 国語、算数・数学、英語の各領域ごとの平均正答率は、小学校・中学校共に、全ての領域で、全国平均を上回りました。
- ・ 無解答率は、小学校では、算数の1問を除き、全国平均を下回りました。中学校では、国語の2問、数学の1問を除き、全国平均を下回りました。

【教科調査の概要「国語」】

- ・ 小学校では、文章の特徴の説明として適切なものを選択する問題の正答率は85%、資料に書かれている内容として適切なものを選択する問題の正答率は94%でした。
- ・ 条件に合わせて文章を書く問題の正答率は30%、資料を読んで分かったことをもとに自分の考えを書く問題の正答率は64%でした。複数の情報を用いて自分の考えが伝わるように書くことなどに課題があると考えられます。
- ・ 中学校では、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題の正答率は94%、インタビューの前に準備したメモの内容の説明として、適切なものを選択する問題の正答率は91%でした。
- ・ レポートの下書きの一部を直した意図として適切なものを選択する問題の正答率は58%、現代語で書かれた古典の作品を読み、表現の工夫などについて自分の考えを書く問題の正答率は56%でした。読み手の立場に立ち、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることや、根拠を明確にして考えをまとめることなどに課題があると考えられます。

【教科調査の概要「算数・数学」】

- ・ 小学校では、椅子の数と椅子を重ねたときの高さの関係を表した表から、椅子が5脚のときの高さを求める問題の正答率は94%、椅子の数と椅子を重ねた高さが比例の関係ではないことを説明する問題の正答率は90%でした。
- ・ 正三角形をつくるための角度を答える問題の正答率は21%、筆算の商の意味について、正しいものを選択する問題の正答率は48%でした。図形の意味や性質をもとに操作の見通しを立てることや、筆算と式を関連付けてとらえることに課題があると考えられます。

令和5年度全国学力・学習状況調査における秋田市の結果について

- ・中学校では、示された手順に従って計算結果を求める問題の正答率は91%、文字を用いた式の四則計算の正答率は85%でした。
- ・空間における平面が1つに決まる条件を選択する問題の正答率は29%、2つの箱ひげ図を比較してデータの分布の傾向を読み取り、説明する問題の正答率は34%でした。空間における直線や平面の位置関係を正しく理解することや、データの分布の傾向をとらえて、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があると考えられます。

【教科調査の概要「英語」】

- ・部屋の中の様子を説明する英語を聞き、内容を最も適切に表している絵を選択する問題の正答率は85%でした。
- ・社会的な問題に関する英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く問題の正答率は19%、学校生活について説明する文章を書く問題の正答率は7%でした。まとまりのある文章を読み、事実や自分の考えなどを整理し、一貫性のある文章を書くことなどに課題があると考えられます。

【児童生徒質問紙調査の概要】

〔自分自身について〕

- ・「自分には、よいところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」など、自分自身のよさを知り、向上心を持って生活している子どもの割合が、全国平均を上回っています。また、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」と回答した子どもの割合は、小学生・中学生共に全国平均を上回っています。

〔人との関わりについて〕

- ・「人が困っているときは、進んで助けている」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」など、学校生活等において友だちや先生と良好に関わっている子どもの割合は、小学生・中学生共に全国平均を上回っています。

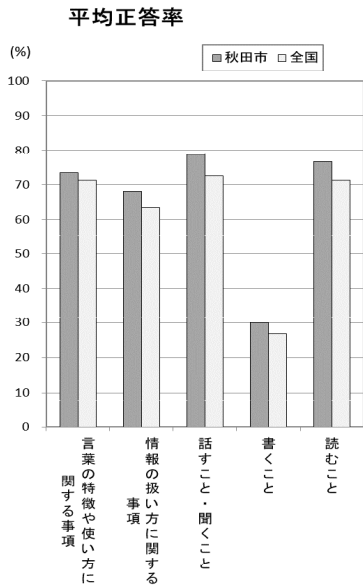
〔学習について〕

- ・「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」など、主体的に学習活動に取り組んでいる子どもの割合は、小学生・中学生共に全国平均を上回っています。
- ・「前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用した」については、昨年度と比べ改善は見られるものの、小学生では全国平均を下回り、中学生では全国平均を上回っています。

〔家庭生活について〕

- ・「毎日、もしくは、どちらかといえば毎日朝食を食べている」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」など、基本的な生活習慣や、家庭での学習習慣を身に付けている子どもの割合は、小学生・中学生共に全国平均を上回っています。

小学校国語 領域ごとの調査結果の主な特徴 【令和5年度】



<言葉の特徴や使い方に関する事項> 問題 1 3

- 「くらべて（比べて）」の正しい送り仮名を選択する問題の正答率は92%、文章の特徴の説明として適切なものを選択する問題の正答率は85%でした。
- 「いがい（意外）」を漢字で書く問題の正答率は59%でした。文や文章の中で、漢字を正しく使うことに課題があると考えられます。

<情報の扱い方に関する事項> 問題 1 2

- 情報の整理の仕方の説明として適切なものを選択する問題の正答率は66%でした。情報と情報との関係付けの方法や、情報の整理の仕方をとらえることに課題があると考えられます。

<話すこと・聞くこと> 問題 3

- インタビューの場面で、質問をした理由として適切なものを選択する問題2問の正答率は79%、81%でした。

<書くこと> 問題 1

- 条件に合わせて文章を書く問題の正答率は30%でした。誤答のうち、8割以上がグラフやカードから分かることなどについて正しくまとめることができていることから、複数の情報を用いて自分の考えが伝わるように書くことに課題があると考えられます。【問題例参照】

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、**ア**いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。**ウ**さんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量

このように取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

【課題となっている問題例】

1 川村さんは、選んだカードをもとに、次の【川村さんの文章】の□に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、□に入る内容をどのように書きますか。後の条件合わせて書きましょう。

（条件）

- 学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。
- 問題点の解決方法については、【カード⑤】をもとにして書くこと。
- 六十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※カードと正答例は、紙面の関係で省略します。

<読むこと> 問題 2

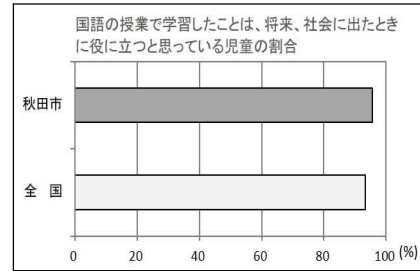
- 資料に書かれている内容として適切なものを選択する問題の正答率は94%でした。
- 資料を読んで分かったことをもとに自分の考えを書く問題の正答率は64%でした。複数の情報を関係付けながら、自分の考えをまとめることに課題があると考えられます。

質問紙調査から「国語の学習について」

「国語の勉強は好きだ」と回答した児童の割合は70%で、全国平均を8ポイント上回っています。

「国語の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合は96%で、全国平均を2ポイント上回っています。

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合は95%で、全国平均を2ポイント上回っています。



小学校国語「本調査(ペーパーテスト)では測れない学力の状況」

本調査(ペーパーテスト)では測れない学力として、学習に対する意欲や関心に加え、自分の考えを分かりやすく話す力、互いの立場や意図を明確にしながらかし合う力、音読や朗読する力など、音声による表現力があります。

各校では、単元の構成や学び合いの場面における手立てなどを工夫しており、子どもたちは意欲を持って学習に臨んでいます。また、詩歌や物語、説明する文章の音読を通して、言葉の響きやリズムを感じたり、言葉や表現の持つ意味を確かめたりするなど、表現する楽しさを味わいながら学習活動に取り組む子どもの姿が見られます。

一方、話し合いの展開をとらえ、自分の意見と比べてまとめることなどについては、十分とは言えない状況にあります。

学習指導改善のための今後の方策

<調査結果から>

「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、漢字の読みや意味、構成を調べたり、同音異義語を使い分けた短文を作ったりする活動を取り入れるなど、文や文章の中で漢字を正しく使うことができるような指導の充実を図ります。

「情報の扱い方に関する事項」については、互いの情報の整理の仕方について交流する活動を設定するなど、複数の情報を整理することのよさを理解することができるような指導の工夫を図ります。

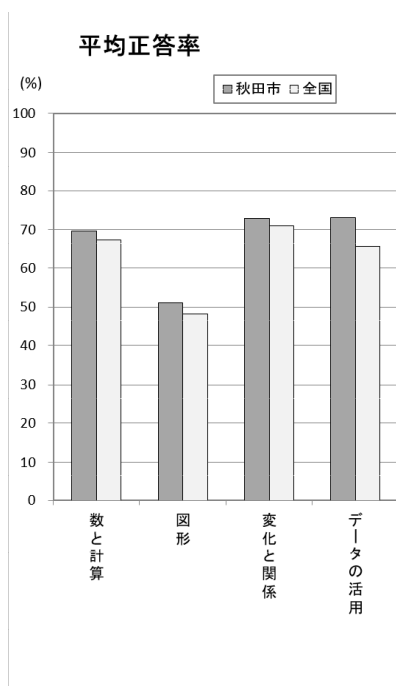
「書くこと」については、分かりやすい表現について考える活動を取り入れるなど、相手や目的に応じて適切に書くことができるような指導の工夫を図ります。

「読むこと」については、複数の資料や本を読んで分かったことをもとに、自分の考えをまとめる活動を設定するなど、情報を関連付けて読み、考えを広げることができるような指導の充実を図ります。

<本調査では測れない学力の状況から>

話し合いの展開や内容を踏まえ、互いの意見を可視化するなどして整理し、様々な視点から検討して考えをまとめる活動を設定するなど、自分の考えを確かめたり広げたりすることができるような指導の充実を図ります。

小学校算数 領域ごとの調査結果の主な特徴 【令和5年度】



<数と計算> 問題 1 3 4

○ 50×40 （一の位が0の2位数の乗法）の正答率は82%でした。

● $66 \div 3$ の筆算の商の意味について、正しいものを選択する問題の正答率は48%でした。筆算と式を関連付けてとらえることに課題があると考えられます。

<図形> 問題 2

○テープを折ったり切ったりしてできた図形の名前を答える問題の正答率は87%でした。

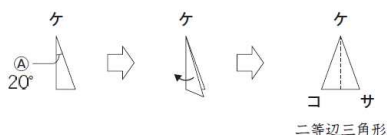
●正三角形をつくるための角度を答える問題の正答率は21%でした。誤答のうち、約5割が 60° と解答していることから、図形の意味や性質をもとに操作の見通しを立てることに課題があると考えられます。【問題例参照】

【課題となっている問題例】 2

(3) ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の④の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



わたしは、④の角の大きさを 20° にしました。切った開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



私は、切った開いた三角形を正三角形にするために、④の角の大きさをゆいなしとちがう大きさにして切りました。

切った開いた三角形を正三角形にするには、④の角の大きさを何度にするればよいですか。

答えを書きましょう。

正答 30°

<変化と関係> 問題 1 4

○椅子の数と椅子を重ねたときの高さの関係を表した表から、椅子が5脚のときの高さを求める問題の正答率は94%、椅子の数と椅子を重ねた高さが比例の関係ではないことを説明する問題の正答率は90%でした。

●割合が30%になるものを選択する問題の正答率は51%でした。基準量に対する比較量をとらえることに課題があると考えられます。

<データの活用> 問題 4

○示された表から、運動した時間の合計が30分以上になった日数を求める問題の正答率は79%でした。

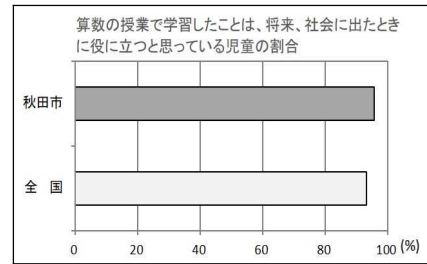
●示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフ読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する問題の正答率は67%でした。複数のグラフからデータの特徴をとらえ、数学的に表現することに課題があると考えられます。

質問紙調査から「算数の学習について」

「算数の勉強は好きだ」と回答した児童の割合は64%で、全国平均を2ポイント上回っています。

「算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合は96%で、全国平均を2ポイント上回っています。

「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合は96%で、全国平均を2ポイント上回っています。



小学校算数「本調査(ペーパーテスト)では測れない学力の状況」

本調査(ペーパーテスト)では測れない学力として、学習に対する意欲や関心に関するものや、自分の考えを伝える力、相手の考えを聞き取る力などがあります。

各校では、実生活と関連させた課題を設定したり、既習の内容と関連させて問題解決の見通しを持つ場面を取り入れたりしており、子どもたちは意欲を持って学習に臨んでいます。また、解決した結果について具体物を用いて確認したり、問題解決の過程を図や式などを用いて分かりやすく表現しようと試みたりするなど、主体的に考え、学びを深めていく子どもの姿が見られます。

一方、自分の考えを筋道を立てて説明したり、数学的な表現を用いて簡潔に説明したりすることについては、十分とは言えない状況にあります。

学習指導改善のための今後の方策

<調査結果から>

「数と計算」では、筆算を具体物や図で表し、式と関連付けて考察するなど、計算の意味について理解を深める活動の充実を図ります。

「図形」では、図形を構成する要素に着目して、角や辺、面の大きさなどを数値化したり、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の性質について考察したりする活動の充実を図ります。

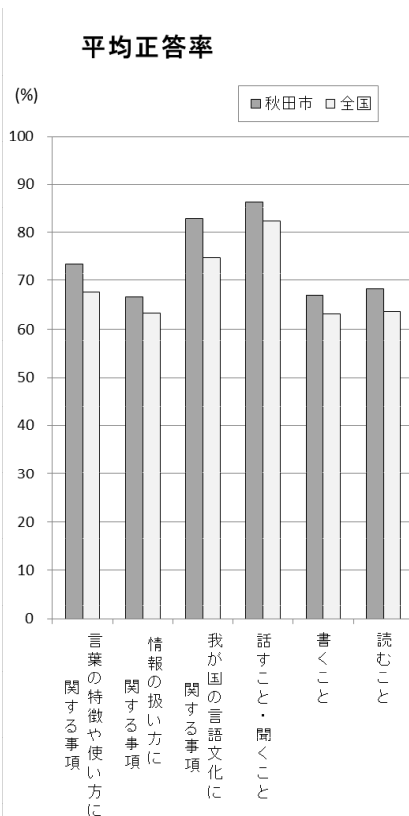
「変化と関係」では、伴って変わる二つの数量を見いだして変化や対応の特徴を考察したり、基準量や比較量を図や式に表したりする活動を取り入れるとともに、割合を用いた比べ方や、比例の関係をを用いた問題解決の方法を日常生活に生かすことができるような指導の充実を図ります。

「データの活用」では、目的に応じてデータを集めて分類整理したり、分類整理されたデータをもとに、目的に応じて分析し、考察する活動の充実を図ります。

<本調査では測れない学力の状況から>

算数における用語や記号の意味を理解し、用いることよさを実感できるような活動や、思考の過程を数学的な表現を用いて説明する活動の充実を図ります。また、具体物や図、式などを用いて解決し、結果を確かめたり、自分の考えと他者の考えを比較・検討したりする活動を取り入れるなど、新たな気付きや理解の深化を促すような指導の充実を図ります。

中学校国語 領域ごとの調査結果の主な特徴 【令和5年度】



＜言葉の特徴や使い方に関する事項＞ 問題 2 3

- 「落胆する」の意味として適切なものを選択する問題の正答率は94%でした。
- 「おし量って（押し量って）」を漢字で書く問題の正答率は53%でした。文脈に即して漢字を正しく書くことに課題があると考えられます。

＜情報の扱い方に関する事項＞ 問題 1 3

- 文章の内容をまとまりで適切に分け、見出しを書く問題の正答率は65%でした。文章に含まれている情報と情報との関係をとらえることに課題があると考えられます。

＜我が国の言語文化に関する事項＞ 問題 2 4

- 歴史的仮名遣い「いひける」を現代仮名遣いに直す問題の正答率は94%、古典の語句「いと」に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す問題の正答率は78%でした。

＜話すこと・聞くこと＞ 問題 1

- インタビューの前に準備したメモの内容の説明として、適切なものを選択する問題の正答率は91%でした。インタビューのまとめとして述べる内容を書く問題の正答率は88%でした。

＜書くこと＞ 問題 3

- レポートに加える具体例を選択し、説明する問題の正答率は76%でした。
- レポートの下書きの一部を直した意図として適切なものを選択する問題の正答率は58%でした。読み手の立場に立ち、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることに課題があると考えられます。

＜読むこと＞ 問題 2 4

- 文章で述べられている内容として適切なものを選択する問題の正答率は79%でした。
- 現代語で書かれた「竹取物語」を読み、表現の工夫などについて自分の考えを書く問題の正答率は56%でした。文章の構成や展開、表現の効果に着目し、根拠を明確にして考えをまとめることに課題があると考えられます。【問題例参照】

【課題となっている問題例】

4 三

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

(星新一) 『竹取物語』による。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

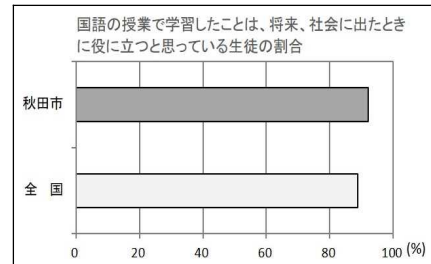
※正答例は、紙面の関係で省略します。

質問紙調査から「国語の学習について」

「国語の勉強は好きだ」と回答した生徒の割合は68%で、全国平均を6ポイント上回っています。

「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合は96%で、全国平均を3ポイント上回っています。

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合は92%で、全国平均を3ポイント上回っています。



中学校国語「本調査(ペーパーテスト)では測れない学力の状況」

本調査(ペーパーテスト)では測れない学力として、学習に対する意欲や関心に加え、自分の考えを分かりやすく話す力、話題や展開をとらえながら話し合う力、音読や朗読する力など、音声による表現力があります。

各校では、資料や教材の提示の仕方を工夫したり、目的を明確にした学び合いの場を設定したりしており、子どもたちは意欲を持って学習に臨んでいます。また、発表や話し合いの仕方を振り返ったり、より分かりやすい表現になるよう吟味したりするなど、表現する楽しさを味わいながら、主体的に学習活動に取り組む子どもの姿が見られます。

一方、話し合いの展開をとらえ、相手の意見を踏まえて質問したり、根拠を明確にして意見を述べたりすることなどについては、十分とは言えない状況にあります。

学習指導改善のための今後の方策

<調査結果から>

「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、文脈に即して漢字や語句の意味を考える活動を取り入れるとともに、話や文章の中で正しく使うことができるような指導の充実を図ります。

「情報の扱い方に関する事項」については、意見と根拠、具体と抽象、情報と情報との関係について整理する活動を設定するなど、話したり書いたりする場面で活用できるような指導の工夫を図ります。

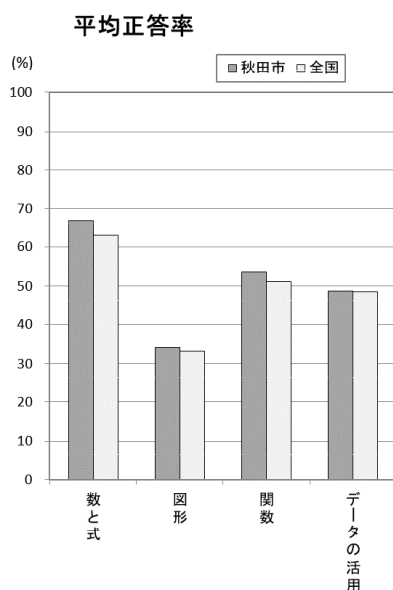
「書くこと」については、読み手の立場に立ち、叙述の仕方を確かめて文章を整える活動を取り入れるなど、目的や意図に応じて分かりやすく書く力を高める指導の充実を図ります。

「読むこと」については、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える活動を通して、読む力を高める指導の充実を図ります。

<本調査では測れない学力の状況から>

話し合いの目的や方向性を確認する場を設定したり、発言の仕方や内容を振り返る活動を取り入れたりとするなど、話題や展開をとらえ、目的に沿って話し合う力を高める指導の充実を図ります。

中学校数学 領域ごとの調査結果の主な特徴 【令和5年度】



<数と式> 問題 1 2 6

○文字を用いた式の四則計算の正答率は85%、示された手順に従って計算結果を求める問題の正答率は91%でした。

●示された5つの数から自然数を選ぶ問題の正答率は46%でした。計算の結果が4の倍数になるための条件を説明する問題の正答率は46%でした。自然数の意味を正しく理解することや、結論が成り立つための条件を見だし、数学的に表現することに課題があると考えられます。

<図形> 問題 3 9

●合同な三角形をもとに、図形の性質を根拠として2つの直線が平行であることを証明する問題の正答率は32%でした。空間における平面が1つに決まる条件を選択する問題の正答率は29%でした。仮定から結論を導く過程を根拠を示して表現することや、空間における直線や平面の位置関係を正しく理解することに課題があると考えられます。

【問題例参照】

【課題となっている問題例】 3

3 空間における平面が1つに決まる場合について正しく述べたものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

- ア 1点をふくむ平面は1つに決まる。
- イ 2点をふくむ平面は1つに決まる。
- ウ 1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。
- エ 1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

正答 エ

<関数> 問題 4 8

● y が x に反比例し、比例定数が3であるとき、 x と y の値の関係について正しい説明を選択する問題の正答率は42%でした。グラフや式を用いて問題解決の方法を説明する問題の正答率は48%でした。反比例の意味を正しく理解することや、問題解決の過程を数学的な表現を用いて説明することに課題があると考えられます。

<データの活用> 問題 5 7

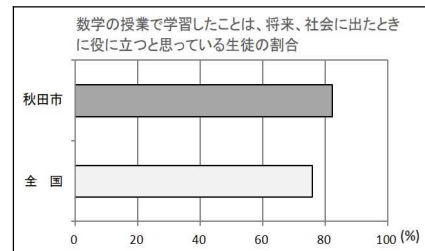
○示された箱ひげ図と表から、四分位範囲を求める問題の正答率は72%でした。
●2つの箱ひげ図を比較してデータの分布の傾向を読み取り、説明する問題の正答率は34%でした。データの分布の傾向をとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があると考えられます。

質問紙調査から「数学の学習について」

「数学の勉強は好きだ」と回答した生徒の割合は62%で、全国平均を5ポイント上回っています。

「数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合は90%で、全国平均を5ポイント上回っています。

「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合は82%で、全国平均を6ポイント上回っています。



中学校数学「本調査(ペーパーテスト)では測れない学力の状況」

本調査(ペーパーテスト)では測れない学力として、学習に対する意欲や関心に関するものや、自分の考えを伝える力、相手の考えを聞き取る力などがあります。

各校では、課題の提示の仕方を工夫したり、解決の見通しを持つ場面を設定したりしており、子どもたちは意欲を持って学習に臨んでいます。また、学び合いの場面では、式や図、グラフ等を用いて自分の考えを伝えたり、多様な考えを比較して解法を検討したりするなど、主体的に学習活動に取り組む子どもの姿が見られます。

一方、数学的な表現を用いて簡潔に説明することや、問題解決の過程を振り返り、新たな課題を見だし、考察することなどについては、十分とは言えない状況にあります。

学習指導改善のための今後の方策

<調査結果から>

「数と式」では、自然数や整数などに関する理解を深めることや、問題解決の過程や結果を振り返り、見いだした事柄を数学的に表現する活動の充実を図ります。

「図形」では、立体模型を作成して構成要素の位置関係をとらえたり、図形の辺や角の大きさを測り、その関係を調べて考察したりするなど、観察や操作等の活動の充実を図ります。

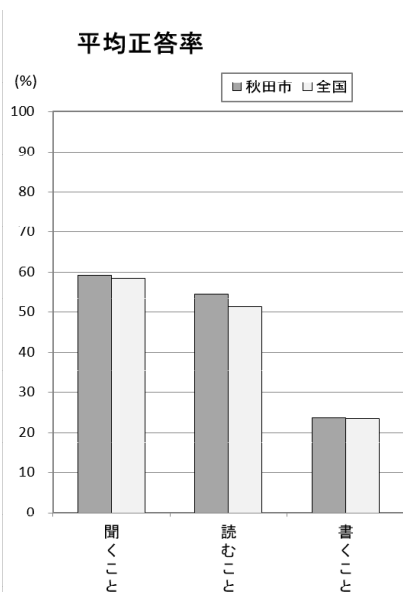
「関数」では、表や式、グラフなどを関連付けて読み取ったり考察したりする活動を取り入れるとともに、問題解決の過程を数学的な表現を用いて説明する活動の充実を図ります。

「データの活用」では、データの分布の傾向を比較して読み取ったり、判断の理由を数学的な表現を用いて説明したりする活動の充実を図ります。

<本調査では測れない学力の状況から>

数学における用語や記号の意味を理解し、用いることよさを実感できるような活動や、思考の過程を数学的な表現を用いて説明する活動の充実を図ります。また、日常や社会の事象を数理的にとらえ、数学的に表現・処理し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動を取り入れるなど、新たな気づきや理解の深化を促すような指導の充実を図ります。

中学校英語 領域ごとの調査結果の主な特徴 【令和5年度】



<聞くこと> 問題 1 2 3 4

○部屋の中の様子を説明する英語を聞き、内容を最も適切に表している絵を選択する問題の正答率は85%でした。

●バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する問題の正答率は42%でした。自分の置かれた状況などから、自分にとって何が必要な情報であるのかを判断した上で聞き取ることに課題があると考えられます。

<読むこと> 問題 5 6 7 8

●図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する問題の正答率は35%でした。まとまりのある文章を読み、書き手が述べていることの大まかな内容をとらえることに課題があると考えられます。

ある文章を読み、書き手が述べていることの大まかな内容をとらえることに課題があると考えられます。

<書くこと> 問題 8 9 10

●学校生活の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く問題の正答率は7%、ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く問題の正答率は19%でした。日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、文と文の順序や相互の関連を意識して一貫性のある文章を書くことや、社会的な話題について、賛否や自分の意見、その理由を整理して書くことに課題があると考えられます。【問題例参照】

【課題となっている問題例】 8

英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



(注) plate:皿 even if:たとえ~でも apartment:アパート agree with:~に賛成する

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

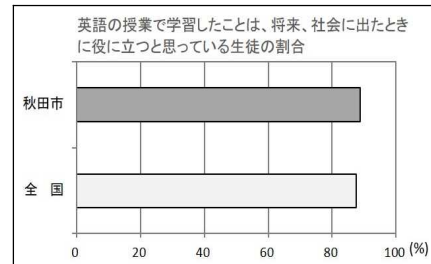
※正答例は、紙面の関係で省略します。

質問紙調査から「英語の学習について」

「英語の勉強は好きだ」と回答した生徒の割合は59%で、全国平均を7ポイント上回っています。

「英語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合は89%で、全国平均を1ポイント上回っています。

「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合は89%で、全国平均を1ポイント上回っています。



中学校英語「本調査(ペーパーテスト)では測れない学力の状況」

本調査(ペーパーテスト)では測れない学力として、学習に対する意欲や関心に加え、英語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度などがあります。

各校では、子どもの興味や関心を踏まえた単元のゴールを定め、目的や場面、状況などを明確にした言語活動を設定したり、ALTとのティーム・ティーチングを効果的に取り入れたりするなどの工夫をしており、子どもたちは意欲を持って学習に臨んでいます。また、英語を用いて自分の思いを伝えたり、相手の気持ちや考えを理解したりすることに喜びを感じるとともに、文化の多様性に興味を持つ子どもの姿が見られます。

一方、事実や考え、気持ちなどを、展開や構成を考えて整理し、既習の表現を用いながら相手に分かりやすく伝えることなどについては、十分とは言えない状況にあります。

学習指導改善のための今後の方策

<調査結果から>

「聞くこと」については、状況や目的を明示するとともに、自分が必要とする情報についてあらかじめ考え、どのような語句や表現が使用されているかなどを予測して聞き取る活動の充実を図ります。

「読むこと」については、代名詞や接続表現などを手掛かりに、段落内の文と文との関係を読み取り、各段落の主な内容をとらえた上で、段落間の関係を把握する力を高める指導の工夫を図ります。

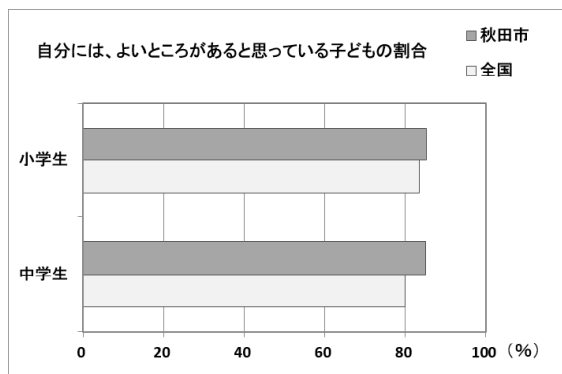
「書くこと」については、事実や自分の考えを伝えたり、出来事を描写したりする際に、文と文の順序や相互の関連を意識して一貫性のある文章を書く活動の充実を図ります。

<本調査では測れない学力の状況から>

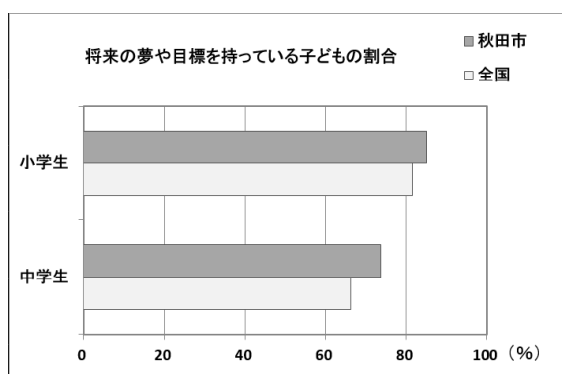
やり取りの場面において活用できる技能を身に付けるとともに、英文を読んで自分の考えを述べる場面を設定したり、相手の発言に対して質問する活動を取り入れたりするなど、即興で伝え合う力を高める指導の充実を図ります。

児童生徒質問紙調査の結果から【令和5年度】

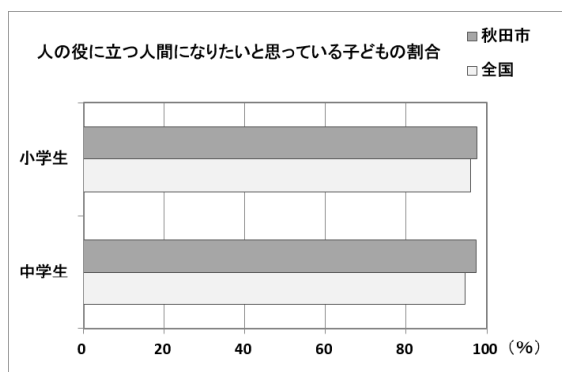
● 自分自身について ●



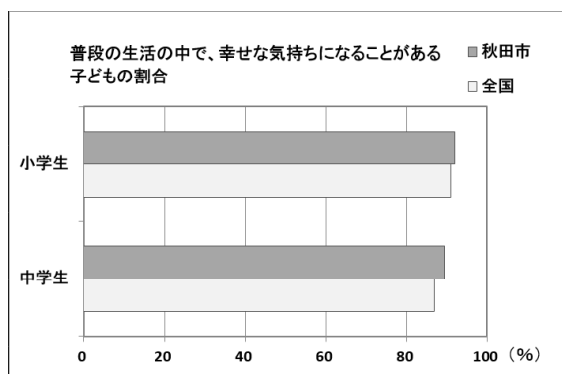
「自分には、よいところがあると思う」と回答した子どもの割合は、小学生・中学生共に85%となっており、全国平均を小学生は2ポイント、中学生では5ポイント上回っています。



「将来の夢や目標を持っている」と回答した子どもの割合は、小学生で85%、中学生では74%となっており、全国平均を小学生は4ポイント、中学生では7ポイント上回っています。



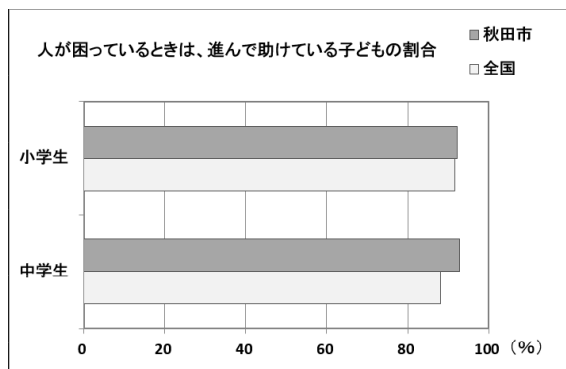
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した子どもの割合は、小学生で98%、中学生では97%となっており、全国平均を小学生は2ポイント、中学生では3ポイント上回っています。



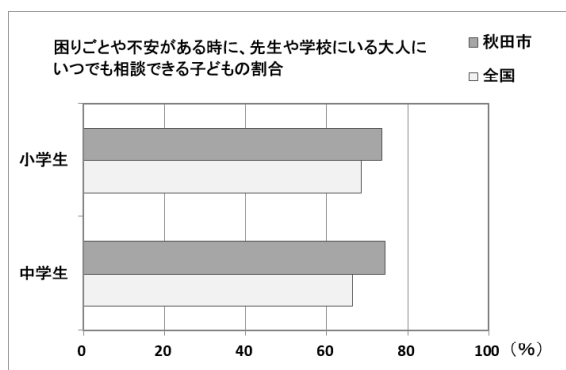
「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」と回答した子どもの割合は、小学生で92%、中学生では89%となっており、全国平均を小学生は1ポイント、中学生では3ポイント上回っています。

児童生徒質問紙調査の結果から【令和5年度】

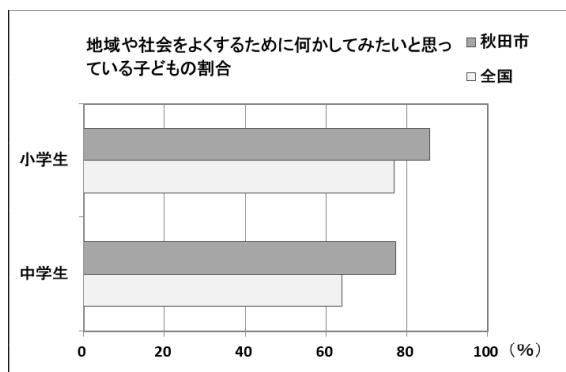
● 人との関わりについて ●



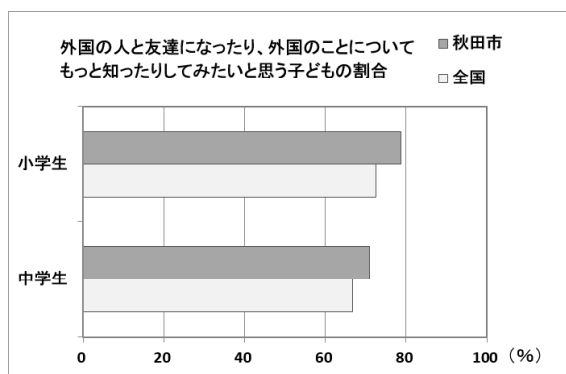
「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した子どもの割合は、小学生で92%、中学生では93%となっており、全国平均を小学生は1ポイント、中学生では5ポイント上回っています。



「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した子どもの割合は、小学生で74%、中学生では75%となっており、全国平均を小学生は5ポイント、中学生では8ポイント上回っています。



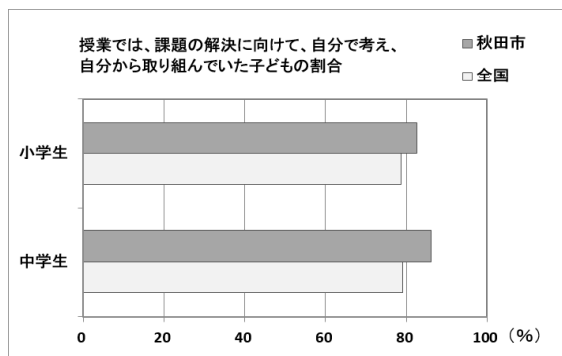
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した子どもの割合は、小学生で86%、中学生では77%となっており、全国平均を小学生は9ポイント、中学生では13ポイント上回っています。



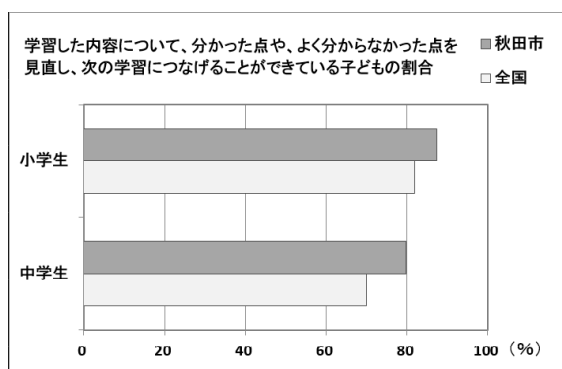
「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う」と回答した子どもの割合は、小学生で79%、中学生では71%となっており、全国平均を小学生は6ポイント、中学生では4ポイント上回っています。

児童生徒質問紙調査の結果から【令和5年度】

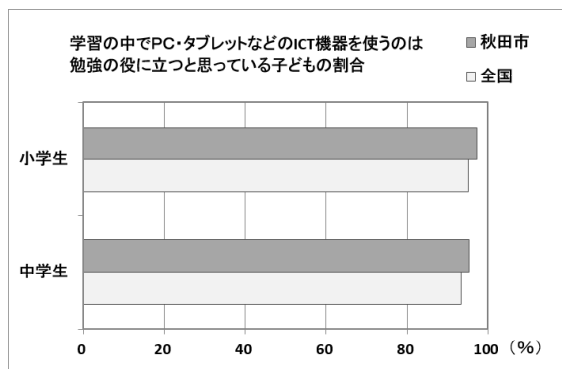
● 学習について ●



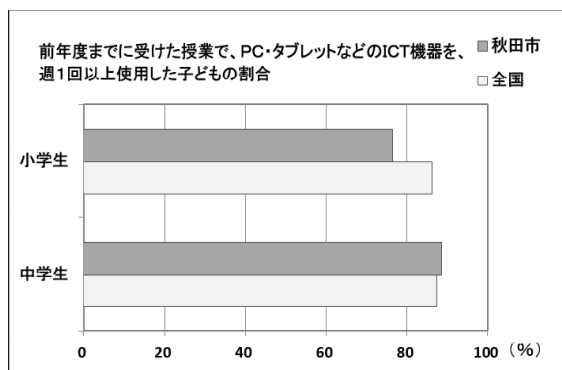
「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した子どもの割合は、小学生で83%、中学生では86%となっており、全国平均を小学生は4ポイント、中学生では7ポイント上回っています。



「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した子どもの割合は、小学生で83%、中学生では78%となっており、全国平均を小学生は6ポイント、中学生では8ポイント上回っています。



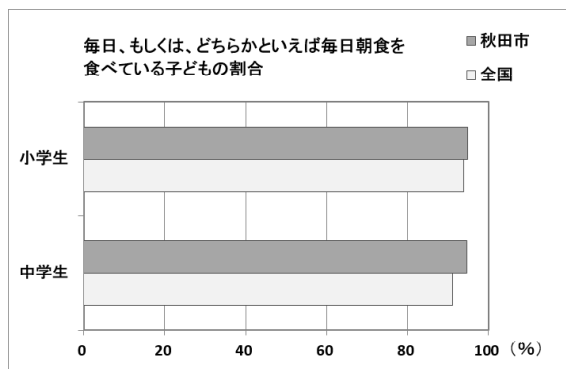
「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答した子どもの割合は、小学生で97%、中学生では95%となっており、いずれも全国平均を2ポイント上回っています。



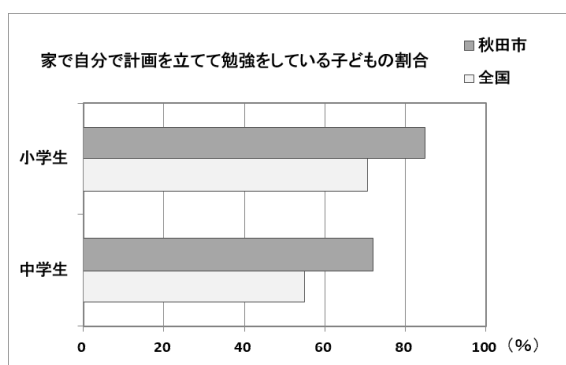
「前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用した」と回答した子どもの割合は、小学生で77%、中学生では89%となっており、全国平均を小学生は10ポイント下回り、中学生では1ポイント上回っています。

児童生徒質問紙調査の結果から【令和5年度】

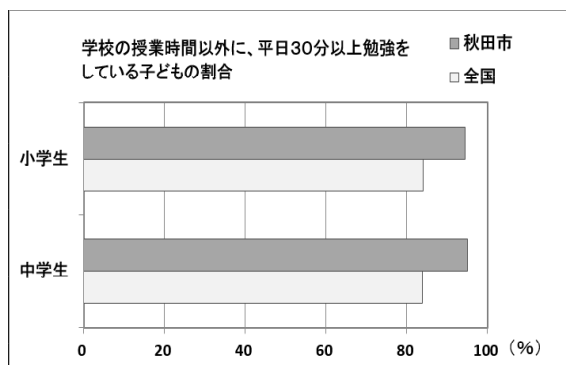
● 家庭生活について ●



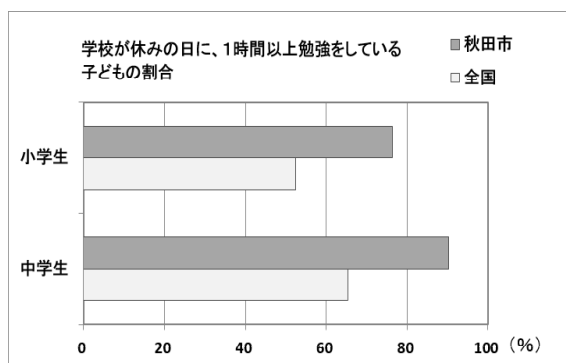
「毎日、もしくは、どちらかといえば毎日朝食を食べている」と回答した子どもの割合は、小学生・中学生共に95%となっており、全国平均を小学生は1ポイント、中学生では4ポイント上回っています。



「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した子どもの割合は、小学生で85%、中学生では72%となっており、全国平均を小学生は14ポイント、中学生では17ポイント上回っています。



「学校の授業時間以外に、平日30分以上勉強をしている」と回答した子どもの割合は、小学生で94%、中学生では95%となっており、全国平均を小学生は10ポイント、中学生では11ポイント上回っています。



「土曜日や日曜日などの学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した子どもの割合は、小学生で76%、中学生では90%となっており、全国平均を小学生は24ポイント、中学生では25ポイント上回っています。

学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づき、地域ブロック協議会において、学校統合の方向性（学校の組合せ）が決定した地域については、学校統合検討委員会で統合の可否を検討している。

また、検討委員会において、学校統合の合意が得られたところについては、学校統合準備委員会で、統合の実施に向けた具体的な準備作業を行っている。

1 学校統合検討委員会の開催状況等

(1) 第3回築山小、中通小学校統合検討委員会【6月28日(水)開催】

ア 主な意見等

- ・児童数の将来推計を見ると、ある程度維持されるほか、現在も、子どもたちが活動するのに困っていない状況である。
- ・老朽化に伴う将来的な秋田南中の改築手法の一つとして、小中併設校の設置もあるとのことであるが、改築計画が具体的にしなければ、統合に関する建設的な意見を出せないため、引き続き、情報提供していただきたい。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・今回の協議内容や児童数の将来推計のほか、秋田南中の改築計画の状況も踏まえ、各所属団体で情報共有するとともに意見集約し、次回以降、引き続き協議する。

(2) 第4回河辺小、戸島小学校統合検討委員会【8月23日(水)開催】

ア 主な意見等

- ・戸島小PTAでは、統合後の校舎は河辺小と考える保護者は多いが、アンケート結果では、戸島小が良いという意見もあった。
- ・河辺地区の3小学校の中間に位置し、児童数が多い、河辺小の校舎を使用するのが良いのではないか。
- ・統合後に使用する校舎は河辺小とする方向とし、戸島小の保護者に意向を確認してはどうか。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・本検討委員会としては、統合後に使用する校舎は河辺小とする方向とし、戸島小PTAで意見集約する。
- ・次回、統合後に使用する校舎を決定し、合意に向けて最終確認する。

(3) 第4回下新城小、金足西小学校統合検討委員会【8月29日(火)開催】

ア 主な意見等

- ・下新城小PTAのアンケート結果では、校舎の使い勝手は下新城小の方が良いとの意見が多かった。
- ・金足西小では、統合を急がず、将来的な飯島小との統合も視野に入れ、現状のままとするのが良いのではないかと意見が多かった。
- ・2校を比較すると児童数や校舎の築年数などに大きな違いがなく、統合後の校舎を決めるのは難しいと考える。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・今回の協議内容や教育委員会が示した資料を踏まえ、各所属団体に情報共有するとともに、意見集約した上で、次回、今後の方向性について協議する。

2 学校統合準備委員会の開催状況等

(1) 第1回土崎小、土崎南小学校統合準備委員会【7月12日(水)開催】

ア 今回の委員会での確認事項

- ・校名（校歌、校章）の選定方法については、今回の協議内容や統合スケジュールなどを踏まえ、各所属団体に情報共有するとともに意見集約し、次回以降、引き続き協議する。

(2) 第10回下北手中、城東中学校統合準備委員会【9月1日(金)開催】

ア 今回の委員会での確認事項

- ・下北手地区のスクールバスについては、対象者に説明会を開催し、意見や要望を踏まえ、乗降場所や時間などを確定する。
- ・閉校記念事業の実施については、実行委員会が主体となり、学校および教育委員会と連携しながら、準備を進めていく。
- ・交流事業については、太平小、下北手小の児童や保護者を対象に、城東中生徒会が主体となって、9月23日(土)に実施する。
- ・廃校舎の利活用については、地域やPTAが教育委員会と連携しながら、協議を進める。

3 今後のスケジュール

(1) 地域ブロック協議会

開催日	地域ブロック協議会	地域
10月以降	第7回河辺地域ブロック協議会	河辺

(2) 学校統合検討委員会

開催日	学校統合検討委員会	地域
9月25日(月)	第5回河辺小、戸島小学校統合検討委員会	河辺
10月24日(火)	第6回旭北小、旭南小学校統合検討委員会	中央
10月以降	第4回築山小、中通小学校統合検討委員会	
	第6回浜田小、豊岩小、下浜小学校統合検討委員会	西部
	第5回下新城小、金足西小学校統合検討委員会	北部
	第5回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会	
	第5回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会	

(3) 学校統合準備委員会

開催日	学校統合準備委員会	地域
10月4日(水)	第3回広面小、太平小、下北手小学校統合準備委員会	東部
10月以降	第11回下北手中、城東中学校統合準備委員会	
		第2回土崎小、土崎南小学校統合準備委員会

※上記地域協議については、進捗状況により、順次、開催する。

(4) 閉校記念式典

開催日	名称	会場
10月15日(日) 午前10時	秋田市立下北手中学校閉校記念式典	下北手中体育館